



自治会のいいところ 教えてください

～自治会の自慢大会～

令和6年度事例集

美濃加茂市まちづくり課

はじめに

自治会は、住みやすく豊かな地域づくりを実現するため、地域住民によって自主的に結成された自治組織であり、地域の様々な課題解決に取り組みながら、地域住民の安心・安全な環境を築くために重要な役割を果たしています。

しかし、近年、単身世帯の増加や核家族化などにより、自治会を取り巻く環境は大きく変化しています。子どもや高齢者の見守り、地域の防災・防犯など、地域の課題の多様化・複雑化する一方で、未加入者や退会者の増加、役員のなり手不足や高齢化、活動における負担感といった自治会活動の課題も増えています。このような状況の中で、自治会の本来の目的である住みやすく豊かな地域づくりに取り組むことが難しくなっています。

このような状況を踏まえて、市では、「自治会のあり方検討会議」（令和3年度～令和4年度）、自治会活動における課題解決の活動を集めた「美濃加茂市自治会事例集」の作成（令和5年度～令和6年度）、自治会活動の困りごとや悩みを共有する「自治会座談会」の開催（令和5年度～令和6年度）などの取り組みを行っています。また、その中でいただいた住民の皆様の声をもとに、市から自治会への依頼事項の見直しにも取り組んでいます。

令和6年度には、頑張っている自治会の取り組みを応援し、その活動を他の自治会に知ってもらうことを目的に「自治会のいいところ教えてください～自治会の自慢大会～」と題して、各自治会の活動を募集しました。ご応募いただいた6つの自治会、2つの連合団体の事例をご紹介します。どの取り組みも大切な活動であり、他の自治会でも参考になるものです。今後の自治会活動の参考にさせていただき、これからの自治会のあり方を考える一助となれば幸いです。

また、皆さまの自治会の中で取り組んでいる活動事例も、引き続きお寄せいただけますと幸いです。

○募集概要

対 象：市内単位自治会及び複数の自治会の連合組織

募集期間：令和7年1月6日（月）～令和7年2月5日（水）

応募団体：自治会・6団体、連合・2団体

掲載事例一覧

1. 【西町連合】春と夏のイベント	3
2. 【木野自治会】木野自主防災訓練	4
3. 【加茂野連合】加茂野弁財天池祭り	5
4. 【新池一自治会】自治会懇親会の見直し	6
5. 【北ヶ谷自治会】3班合同掃除の内容のテンプレート化と明確な作業指示	7
6. 【伊瀬自治会】みんなが楽しめる夏祭り	8
7. 【中部台自治会】中部台パークイベント	9
8. 【大楽東2自治会】防災設備の更新	10
美濃加茂市長、アドバイザー コメント	11

【活動タイトル】

春と夏のイベント

【自治会名または連合組織名】

西町連合

※西町東・西町西・西町南・西町北一・西町北二
西町中の連合組織

活動地区 太田地区

【活動紹介】

春の育成会主催の花神輿を2基作製し、西町を二手に分かれ子供と親と一緒に参加して、引っ張って歩く行事で約30万の金額が集まりました。その収入を子どものために西町体育館でマジシャンを呼んで、その後はビンゴゲームも行い、楽しみの色を添えて大盛況でした。

しかし育成会に入っている方の大半が自治会に加入されていないのが残念に思います。この活動を上手く繋げることが出来ないのかと考えます。

夏のイベントの盆踊りでは、イベントの中で、食べる・飲む、ゲームといった内容がありますが、年々高齢化により、出し物や食べる物の種類が少なく魅力が無いため、思い切ってキッチンカーを4台並べてみました。

開催の案内をコピーし回覧板を自治会内に回しました。その効果もあってか、今までにはなかったような多くの人たちが集まり、最後まで楽しく過ごせたのではないかと、思いました。

今年は、昨年に比べキッチンカーも1台増設し、会場の空いたスペースに3台のフリーマーケット屋さんを増設し、もっと楽しくやって行こうと思っています。



【イチオシ POINT】

スポーツ大会だけではなく、もっと誰もが楽しめる娯楽の方面に力を入れても良いのではないかと考えます。若い人達を取り入れないと町自体が衰退してしまうように思います。

【活動タイトル】

木野自主防災訓練

【自治会名または連合組織名】

木野自治会

活動地区 加茂野地区

世帯数 205世帯

【活動紹介】

この地域において、大規模地震や災害が発生した場合に対応できるように、コロナ禍で中止になっていた防災訓練を、5年ぶりに実施しました。

加茂野地区の防災訓練はありましたが、役員主体の参加のため思うような訓練ができないと思い、自治会

としての「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神で行いました。

訓練には、市議会議員、可茂消防職員、消防団5分団員、自警団員に協力をいただき、避難訓練に始まり、AEDを使用した応急処置訓練、農水管を使用した放水訓練及び消火訓練、子供対象に写真撮影及びポップコーン、最後に炊き出し訓練で調理したおにぎりや豚汁をいただきました。

こうした訓練を積み重ねることによって、防災意識を高め「いざと言う時」に役立てることを確信しました。



【イチオシ POINT】

災害発生時、自分がやれること、しなければならないことなどをこの防災訓練を通じ、身をもって再認識できました。

【活動タイトル】

加茂野弁財天 池祭り

【自治会名または連合組織名】

加茂野連合

※加茂野北・加茂野中・加茂野南自治会の連合組織

活動地区 加茂野地区

【活動紹介】

自治会では、池まつり保存会が中心となり、コロナ禍で中止となっていた「池祭り」を一昨年（令和5年度）から、復活させました。

池祭り保存会と自警団が企画・準備し、自治会が支援する形で実施し、焼きそばや、ソーセージ、とんちゃん等の販売ブースを設置した。

会場内で豪華な景品が当たる「抽選番号くじ」を配布し、ステージで抽選発表をしました。大きな歓声がある等、大変盛り上がりしました。

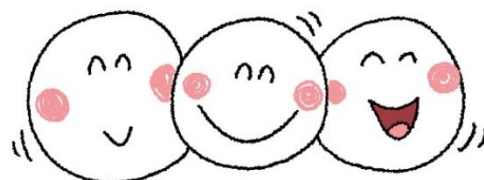
販売ブースは、保存会、自警団、自治会役員が担当し、忙しい中でも大盛況でした。

多くの子供たちの笑顔やファミリーの笑顔を見ることができ、夏の恒例行事の復活に、参加者も大変満足しています。



【イチオシ POINT】

来場者の皆さんの笑顔 ✨



【活動タイトル】

自治会懇親会の見直し

【自治会名または連合組織名】

新池一自治会

活動地区 古井地区

世帯数 111世帯

【活動紹介】

当自治会では毎年、年度初めの自治会総会後に懇親会を開催していましたが、例年参加する方が自治会世帯数の30%以下の30名程度で開催の意義に以下のような疑問が出ておりました。

- ①そもそも自治会員は世帯の全員のはずだが、世帯主1名のみが懇親会参加対象になっていた。そのため会の参加者は、男性が占めており、若年～高齢・男女が参加し、共助の関係を築く自治会員が知り合いになる場としての機能を十分にはたしていなかった。
- ②食事の数は世帯数を用意していたが、上記のように参加しない方のほうが多く、その分のお弁当は総会後に持ち帰ってもらったり、班長が届けていたり、上記の趣旨に合致していなかった。
- ③お弁当にかかる費用もかかり、自治会費を軽減する支障となっていた。
- ④懇親会当日の裏方（食事・お酒・飲み物の配膳、片付け等）は自治会4役の配偶者がする慣例になっており、家族が役を受けることになるため、役員選出の際、難色を示されたことがあると聞いていた。



以上の理由で令和6年度の懇親会は、参加を世帯1名とせず、自治会員全員を対象としました。事前に参加される方に申込みいただき、人数に見合った会場で食事もパーティー形式で無駄のないようにし、当日のスタッフは役員本人がすることとしました。

【イチオシ POINT】

当日参加された方は、お子さんも含め家族で来られた方もおり、自治会の在り方が、家族単位で参加し、すべての人が関わるものに少しでもなったのかなと思います。

各自治会が自ら普段の自治会活動の内容を見直し、会に参加することがメリットとなり、災害時、防犯、生活の困りごとの相談など助け合いの関係性を築いていければ、会の発展にもつながるものと考えます。

【活動タイトル】

3班合同掃除の内容のテンプレート化と明確な作業指示

【自治会名または連合組織名】

ナビタウン自治会

活動地区 加茂野地区

世帯数 120世帯

【活動紹介】

＜実態＞ ナビタウン自治会には、12の班がある。

3つの班でグループを作り、4つのグループで年6回の合同掃除をローテーションで実施している。

＜掃除対象エリア＞ 稲刈児童公園周辺、及び、ナビウ自治会集会所周辺の掃除。

＜現状の問題点＞ 掃除当日は、環境整備委員が作業区域を指示するのみで、掃除内容の明確な指示がなかった。そのため、掃除内容は作業者の個々の判断となり、思うような成果が出せていない。

＜原因＞ 掃除を指示する環境整備委員が、それぞれのエリアでの掃除内容を理解していないため、作業指示が出せない。

＜対策＞ 掃除参加者に対して、本日の掃除内容（取組項目）を明確に伝える。また、作業分担をきちんと指示をする。作業指示は口頭説明だけでなく、目で確認できる仕組みも加える。

＜改善点＞ ① 稲刈児童公園周辺、及び、集会所周辺の略図を作成した。

② それぞれのエリアで行うべき掃除内容（取組項目）を一覧表に箇条書きにまとめた。

③ ①・②を看板に貼り付け、作業指示時にはこの看板を掲げて説明するルールとした。

④ 前日に環境整備委員が当該エリアを点検し、掃除取組項目を決定しておく。

⑤ 箇条書きにした掃除取組項目の中から、本日の掃除取組項目に赤丸を付け、作業指示時に読み上げる。

⑥ ⑤に加えて①の略図にホワイトボードマーカー（赤）で、本日掃除する箇所にマーキングする。

⑦ ⑥に加えて作業の分担は、エリア指示に加え、『〇〇班の男性は・・・！女性は・・・！〇〇をやってください！』と、作業内容を明確に指示するルールとした。



【イチオシ POINT】

参加者からは、作業指示が明確になり「何を行えば良いか、とても分かり易くなった」との意見が多数あった。どのエリアの、どの場所を、どうするのか？を略図を見ながら（目）、作業指示が聞ける（耳）とで、とても分かり易い、との事。計画した成果が出るようになった。

以前は 8:00～9:00 の 1 時間が掃除の目安であった⇒微妙ではあるが、作業時間の短縮も進んでいる。

【活動タイトル】

みんなが 楽しめる夏祭り

【自治会名または連合組織名】

伊瀬自治会

活動地区 蜂屋地区

世帯数 95世帯

【活動紹介】

伊瀬自治会では、地域の皆さまが一体となり、楽しいひとときを共有できるイベントとして「夏祭り」を毎年開催しております。このイベントは、約50年前から続いている行事で、規模が段々大きくなってきており、地域の絆を深める大切な行事となっています。

「夏祭り」では、子どもから大人まで、さらには高齢の方までが楽しめる多彩なプログラムを用意しています。

特に注目すべきは子ども会が主導で行うさまざまなゲームです。昔は盆踊りだけだったところに、より一層楽しみが増えました。子どもたちからは、「面白いから来年は何やるの?」という期待の声もいただいています。

また、自治会の役員が中心となって設置する飲食ブースも大人気です。わたがしやポップコーンなどの定番のスナックに加えて、お酒が飲める方にはアルコールを、飲めない方にはコーヒーなどを提供し、皆さまの嗜好に応じたひとときを楽しんでもらえるようにしています。

さらに、盆踊り保存会の皆さまにもご協力いただき、盆踊りも実施しています。伊瀬に住んでいた方々も、この夏祭りの時期には帰郷し、再び仲間や地域の皆さんと交流する場となっています。そのため、自治会員以外の方々も参加可能です。また、夏祭りは準会員である地元企業からの協賛もいただき、非常にありがたく感じています。

このように自治会活動の中で「楽しい!」と感じる行事を作り、魅力ある自治会を目指していきます。



【イチオシ POINT】

参加者の皆さんが「楽しい!」と思ってくれること。

「楽しい!」と思う自治会活動があることで、脱会を防ぐ効果もあると考えます。

【活動タイトル】

中部台パーク イベント

【自治会名または連合組織名】

中部台自治会

活動地区 蜂屋地区
世帯数 754世帯

【活動紹介】

中部台自治会では、毎年秋にウォーキングイベントを実施してきました。このイベントは毎回約700名が参加する人気イベントであり、ウォーキングの後には抽選会も行われています。しかし、ウォーキング終了後から抽選会実施までの空き時間が約1時間半程度あり、日曜日の貴重な午前中をより有効に活用したいと考えました。そこで、自治会員の交流を深めるため、「中部台まつり」と名付けたイベントを公園の敷地を利用して同時開催することを決定しました。

「中部台まつり」では、ゲームコーナー、体験ブース、飲食ブースなどが設けられました。自治会の有志とともに、中学生ボランティアも参加し、ゲームコーナーの運営を手伝っていただきました。

体験ブースでは、地域の企業や団体に協力をお願いし、5団体が出店をしていただきました。

その中で、地域内外問わず高校生に活躍の場を提供し、参加してもらうことで、高校生のアイデアを活かした「お菓子食べ競争」のブースが誕生し、多くの人を楽しめました。

このように中学生や高校生が運営側に关与してもらうことで、大人主導の自治会活動だけでなく、若い世代の意見やアイデアも取り入れることができました。また、近隣の企業や団体とのつながりができたのは大きな成果だと思っています。世代間のつながりを作り、地域全体でイベントを楽しむことができたと考えます。

中部台自治会では、次年度以降も引き続き自治会員の交流を持続させるため、新たに委員会を設立し、中部台まつりや自治会のあり方について検討していく予定です。その際には、お母さん方にも声をかけ、幅広い世代の意見を取り入れ運営を進めていきたいと考えています。



【イチオシ POINT】

- ① 中学生、高校生なども運営側に関わってもらったこと
- ② 外部の企業や団体とつながりをもてたこと
⇒世代間交流、子どもたちの意見も取り入れた自治会へ！

【活動タイトル】

防災設備の 更新

【自治会名または連合組織名】

大楽東2自治会

活動地区 古井地区

世帯数 28世帯

【活動紹介】

安心・安全に自治会の会員が暮らせるように、防災設備の更新を行いました。

はじめに、自治会内に消火栓のホース格納箱を5個更新しました。中身のホースも古いものがあったので、新しいものに更新をしました。

また、自治会内で備蓄品を貯めておくため、防災備蓄倉庫も導入しました。



これらの活動は、市の「自主防災事業補助金」を活用することができたので、自治会の負担分が少なく、実施することができました。



【イチオシ POINT】

安心・安全で暮らせる自治会へ！



美濃加茂市長
藤井 浩人

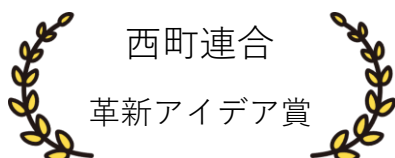
自治会員の皆様には、日頃から地域のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

今回ご応募いただきました8つの事例は、お祭り、防災、清掃活動など多岐にわたりますが、いずれも「自分たちの地域は自分たちでつくる」「地域のつながりを守る」という自治の原点を大切に活動です。

住民として当たり前のことかもしれませんが、その当たり前が失われつつあるのが現状です。時代は常に変化していますが、私たちはこれからも自治会の必要性和重要性を伝えていきたいと考えています。そして、頑張っている自治会を応援し支えていきたい、その取り組みを全市に広げていきたいと思っています。

この事例をもとに、今一度、どんな自治会にしていきたいか、そのために何ができるのか、皆さんと考えていきたいと思っています。

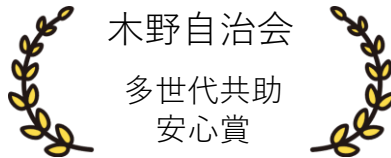
各自治会の取り組みに対して、賞とアドバイザーからのコメントをお送りします。



西町連合

革新アイデア賞

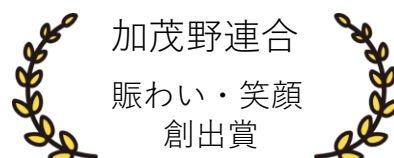
新しく取り組みを変えていくのは大変だったと思います。キッチンカーを導入して運営の手間を減らしながら、新たな魅力づくりに取り組み、翌年度はさらに充実させようとチャレンジする点が素晴らしいと感じました。



木野自治会

多世代共助 安心賞

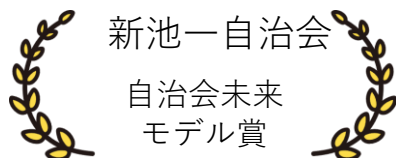
防災訓練が形骸化する地域も多い中、応急処置訓練や消火訓練に加え、子どもたちや食の楽しさを増やして、質を向上する取り組みと参加者を広げる取り組みの両方に取り組まれている、有意義な訓練が行われていると思います。



加茂野連合

賑わい・笑顔 創出賞

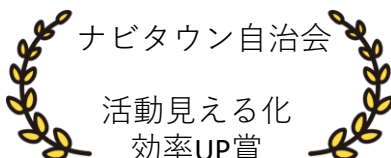
一度なくした企画の復活は本当に大変だと思います。ただ、早めに復活しないと知っている人がいなくなり、復活がより困難になります。抽選会はイベントに参加者の増加と滞留を促すとても有効な手法だと感じました。



新池一自治会

自治会未来 モデル賞

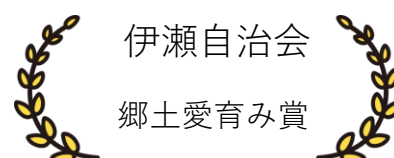
「世帯1票から1人1票へ」。世帯主だけが参加する自治会活動では立ち行かなくなり、子ども、若者、女性も一緒になって運営していくことが求められています。まさにこの活動は、その先駆けをいくとても素晴らしい活動です。



ナビタウン自治会

活動見える化 効率UP賞

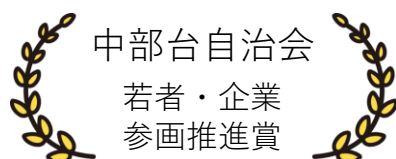
自治会の活動は、一般の自治会会員には具体的な内容が分かりにくいものです。そのため実際にやってみるとあまり負担ではない業務も敬遠され、役員を断られる原因になります。このようにしっかり見える化することが重要です。



伊瀬自治会

郷土愛育み賞

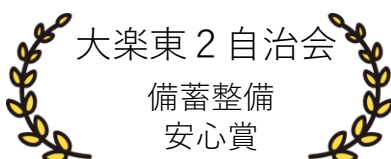
子どもの頃の楽しい思い出は、その場所を離れていても、帰郷するきっかけになります。お祭りが50年続いていることにも驚きますが、さらに規模が大きくなって改良を重ねていることが素晴らしいと思います。



中部台自治会

若者・企業 参画推進賞

「参加してほしいなら、まず当事者になってもらう」というのが地域づくり企画の鉄則です。中高生に企画から運営に関わってもらったことは大変素晴らしく、他の行事などにも同じ手法で幅を広げたいと思います。



大楽東2自治会

備蓄整備 安心賞

住民の一番身近な自治会で防災備蓄品を整えていくことは、共助の防災の中でとても重要です。また、自治会員にとって、わかりやすいメリットのひとつになるのではないのでしょうか。地域の絆を強化する機会にもなると思います。



アドバイザー
北村 隆幸

○問い合わせ先

・まちづくり課	25-2111（内線362）	・加茂野連絡所	25-2493
・太田連絡所	26-2628	・伊深連絡所	29-1395
・古井連絡所	25-2058	・三和連絡所	29-1001
・山之上連絡所	25-2739	・下米田連絡所	25-2714
・蜂屋連絡所	25-2901		

発行 令和7年5月

美濃加茂市市民協働部 まちづくり課
〒505-8606 美濃加茂市太田町3431-1
電話：0574-25-2111(内線362)
FAX：0574-25-3917
メール：machi@city.minokamo.lg.jp